



運 営 協 議 会 だ よ り

第6号

代表 近藤 弘文 校長 竹村 郷

第5回地域協働学校運営協議会が開催されましたので、議事の概要をご報告します。

■日 時 令和元年11月12日 17:00～18:20

■場 所 落合第六小学校 視聴覚室

■司 会 副校長 庖刀 由利子

【議題】

先月取り上げた、格差の解消についてこの地域でできることはないか、また、この地域協働学校としてなにかできないか、もう少し時間を使って話し合いたいと思います。

【意見交換】

- ・子どもたちに仕事の話をしてもらおうとよいのではないか。社会の中の貴重な体験を話してもらえるとよい。
- ・話だけでは難しいと思う。体を動かして得るものの方が、小学校では影響が大きいのではないか。
- ・新事業を設けることもあるかもしれないが、今の取り組みをブラシアップしていくことがよいと思う。
- ・個人的には母親として、地域のおばあちゃんとして、この地域で頑張っているが、日本の心を伝えることについて、成果を感じている。
- ・子どもたちにさまざまな経験や体験を積ませることにより、自らの物差しを持つことが大切。地域の方の話を聞き、できれば体験をさせる。経験により将来の選択肢が増えると思う。それを惜しまず行っていくことが大切だと思う。それを学校だけで賄っていくことは難しいと思う。
- ・地域格差もあるが、この地域は安定した地域であると感じている。豊かな周りの人たちに支えられて、変わっていくこともあると思う。
- ・「調べる学習コンクール」で野菜を調べる子どもたちがずいぶん増えてきている。学校活動での実践が活きていると思う。
- ・サロンの一員として作った野菜を活用してメニューを作ってみたい。
- ・子どもたちにお手伝いをさせることは、大切である。学芸会で子どもたちがお手伝いをしていたが、主催者側の見方ができ、よい機会だと思った。

【校長先生より】

- ・農林水産省の食料産業局長賞(地産地消)の表彰を受け全国で三位になった。
- ・学芸会では子どもたちが頑張ったおかげで、教員が意欲を奮起して頑張った。ありがたいことだと思っている。
- ・ブロック制については低中高のブロックではなく、低高のブロックにする予定。教科担任制+単元担任制にし、教師を自由にして自分たちで決めさせて、意欲を高めさせていきたいと思っている。
- ・11月23日に6年生が2人、24日に4年生2人が、「デザイン学会」国際フォーラムで発表する予定。
- ・来年度の研究テーマを「社会に躍動する子どもの育成～これからをリードする教育のデザイン～」とする。

【次回の予定】

12月10日(火) 17:00～ 落合第六小学校 視聴覚室にて

【出席者】

近藤 弘文、秋元 宗司、原田 榮、橋田 稔、亀井 治子、篠田 邦子、舘 次郎、
鈴木 正実(西落合図書館 館長)、遠藤 剛(落合第二地区 特別出張所 所長)、
竹村 郷、庖刀 由利子(書記兼務)、大森 伸保(教育支援課地域家庭教育係)